■ リニアを活かした交流圏拡大道路整備事業（リニア関連道路整備事業）

県では、リニア中央新幹線の整備効果を広く県内に波及させるため、平成 26 年３月に「長野県リニア活用基本構想」を策定しました。

この構想の実現に向け、平成 27 年度以降新たに「リニア関連道路整備」として、以下の１～４を実施し、リニア開業時までに効果発現を目指します。

1　長野県駅の周辺整備

広域交通・地域振興の拠点として、利便性と快適性を兼ね備えた駅機能を確保するとともに、駅周辺の交通渋滞を緩和します。

2　高速道路とリニアを一体化する道路整備

リニアによる大都市圏との時間短縮効果をより広範囲に拡大させるため、高速道路と長野県駅を直結させるとともに、スマート IC を設置します。

あわせて高速道路の通行止めにも対応できるよう、並行する国道 153 号も整備します。

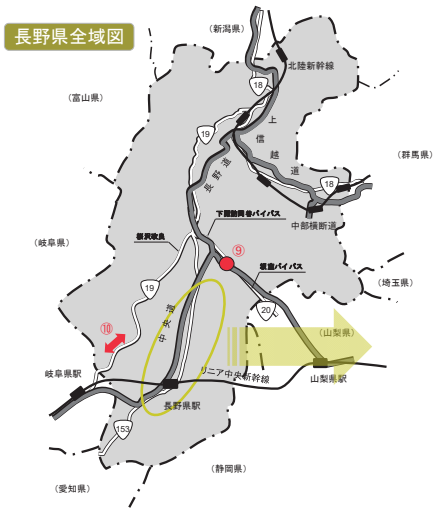
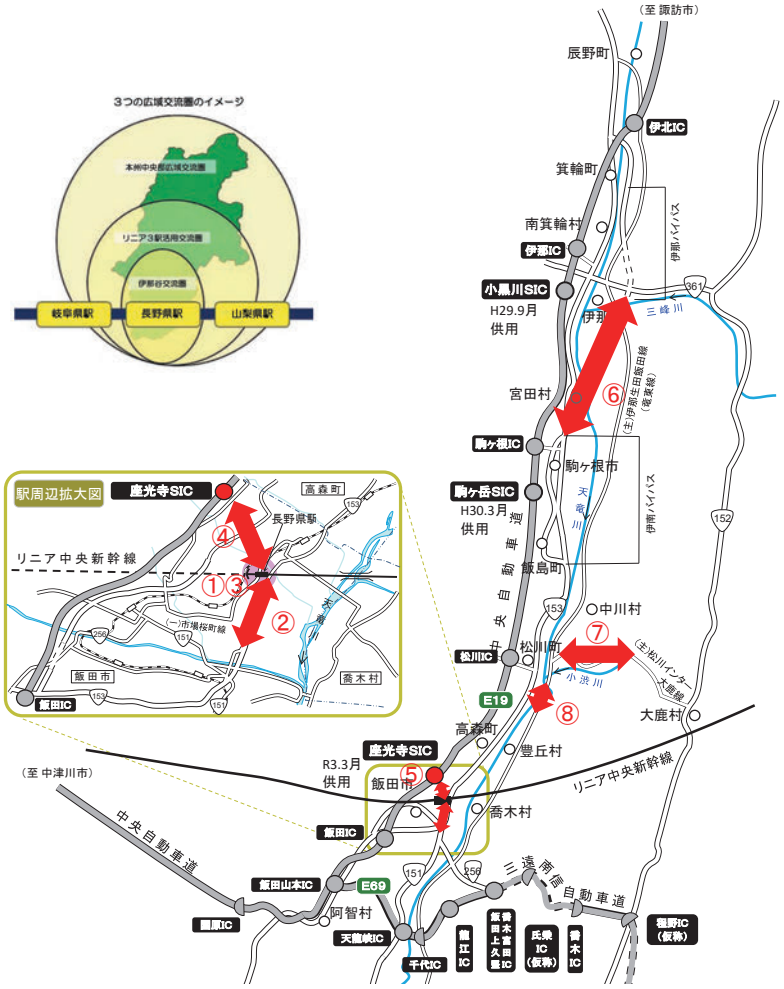
3　JR 東海のトンネル発生土運搬路確保に合わせた道路整備

JR 東海によるトンネル工事発生土の運搬路の安全確保に合わせ、道路を効率的に整備します。

4　リニア３駅活用交流圏の実現に向けた道路整備

山梨県駅を活用した交流を拡大させるため、スマート IC を設置し周辺道路を整備します。また、岐阜県駅へのアクセス道路となる国道 19 号の信頼性を高めるため、並行する木曽川右岸道路を整備します。

リニア関連道路として整備を目指す箇所

区分	番号	箇　　所	R7 実施内容（予定）
(1)	①	交通広場、駐車場等	駅周辺整備実施設計・工事、 用地補償（飯田市）
	②	(国)153 号　飯田北改良	〈H28 事業着手〉 用地補償、埋蔵文化財調査、道路築造工
	③	(都)東新町座光寺線　飯田市上郷 ((一)市場桜町線)	〈R1 事業着手〉 用地補償、道路築造工
(2)	④	(主)飯島飯田線・(一)上飯田線 座光寺上郷道路	〈H28 事業着手〉 用地補償、埋蔵文化財調査、道路築造工
	⑤	座光寺 SIC	〈H28 事業着手（H28.6 連結許可)〉 R3.3 供用
	⑥	(国)153 号　伊駒アルプスロード※1	〈R2 事業着手〉 調査設計、用地補償
(3)	⑦	(主)松川インター大鹿線　渡場～滝沢	〈H27 事業着手〉 H31.3 供用（トンネル部)、R3.9 供用（現道拡幅部）
	⑧	(主)伊那生田飯田線　松川町　宮ヶ瀬橋	〈H27 事業着手〉 R4.3 供用
(4)	⑨	諏訪湖 SIC　他周辺道路整備	〈R1 事業着手（R1.9 連結許可)〉 R7.7.27 供用予定（諏訪湖 SIC)、 道路築造工（他周辺道路整備）
	⑩	木曽川右岸道路(読書ダム～戸場ほか)	〈H28 事業着手〉 調査設計、用地補償、トンネル工

※１　長野県でルートを設定し、直轄権限代行により事業化。